

岩手工場は北上市内の下江釣子から黒岩に移転しました。
旧黒岩小学校の学び舎からカシミヤーットで世界を目指します。

昨年廃校になつた黒岩小学校をお借りすることになりました。
スペースは4倍以上になつて、スペースだけは飛躍の準備万端です。

英國ロンドンを皮切りにオーストラリアのシドニー、香港、イスラエル、アメリカ、韓国、フランス、中国、台湾とひろがつて海外9カ国になつてきました。
岩手北上の職人が作ったカシミヤが海を渡ります。楽しみです。



【青山ショールーム リニューアル】

東京南青山・骨董通り、たつむらビル607号室の本社のショールームが新しくなりました。
今まで窓がなく色が見えづらかったのですが間仕切りのレイアウトを縦割りにして窓を確保しました。自然光が入りますので以前よりより一層カシミヤの色が引き立ちます。常時ほとんどの商品が試着できます。是非お越しください。(ご予約をお願いしま



* メディア取材・掲載 *

【フジテレビ】 2月5日 ライブニュース
岩手のカシミヤ世界へ。品質を支える日本の技術とSDGsアップサイクルが全国放送で紹介

【岩手朝日テレビ】 5月11日 スーパーニュース
ンネルいわて 立地調印式が夕方のニュースで

【IBC岩手放送】 5月12日 タ方のニュース
で立地調印式が取り上げられました。



2023年度分40万円を岩手県庁に寄付した際には、メディアに取り上げていただきました。



【東日本大震災への寄付】

悲惨な東日本大震災も13年が経ち、UTOは2012年からずっと北上にお届けしてきましたが、「岩手県では各市で受け付けていた寄付を県にになり、今後の寄付金は岩手県が地震や津波により著しく被害を受けた子どもたちへの修学の支援や教育の充実のための「いわて学び希望基金」に寄付することになりました。



レディース シルク100%
ふわふわウォッシャブル Vネックセーター
1132-1424 / ¥45,100(税込)

シルクと言えば贅沢品。そんなシルクを「デイリー」に着回したら、いつもの毎日が心地よく豊かな気持ちは過ごせます。シルエットは着回ししやすいベーシック。細い衿に袖・裾リブも細くして、女性らしいディティールになっております。



メンズ シルク100%
ふわふわウォッシャブル ニットポロシャツ
1232-1410 / ¥46,200(税込)

真夏でもさらっと、涼しく。吸湿、放湿性に優れているのもシルクの良いところ。汗やペタつきもすばやく吸収・発散してくれるので、さらりと快適に。蒸れや汗冷えの心配もありません。



小物 カシミヤ100%
スロンティングストール ミドル
(155cm×65cm)
1312-3364 / ¥39,600(税込)

からだ全体を包み込む大判サイズのストールは夏の冷房の肌寒さから守ってくれます。いち推しのポイントは豊んだときの“コンパクトなサイズ感”。畳むとバッグにすっぽり収まるので、とても軽いカシミヤのストールはお出かけ中でもお手軽に持ち歩けます。

【青山・表参道界隈】 UTOはこんな街から発信しています
カシミヤおやじの

ふーみんママが映画になつた

中華風家庭料理の店

UTOのある、東京南青山骨董通り。隣の隣の小原流会館の地下にある台湾風家庭料理のお店「ふーみん」はここに勤める人なら知らない人はいないと思います。1996年と2002年にこの通信の南青山界隈でも紹介させて頂いたことがあります。

私が近所で創業した32年前にはありました。若い頃は社食みたいにほぼ毎日通っていました。客席からよく見える厨房の中で料理人たちに混じつてひとり小柄な身体で不似合いなほど大きな中華鍋で奮闘している姿を見るのも駆走でした。

味も量も抜群でたまに残すと「味どうだつた?」と優しく聞いてくれる気遣い。個人的に定食の豚の角煮と梅干煮がいちばんですが日々替わりの定食。中華丼、ふーみんソバ。はづれはありません。

人気店の定め。お昼は当然のことと並ぶんですがビルの地下一階ですから天気に左右されることはあまりありません。並ぶ人のために椅子が用意してあり20人ほどは座つて待てますがその後ろは立つて並ぶことになります。私は一時半以後に行つて椅子に座れたら並んで待つようにしていますがそんな時間でもほん

立つています。厨房もサービスも気持ち良い活気があります。最近は殆どお年寄りを見かけることがなくなりましたが、3~4年ほど前お年寄りとお会いしたときに、お互いに「長いね!30年過ぎたもんね!」とねぎらい合つたことがあります。



北上工場は移転しました

北上市内の旧黒岩小学校へ

UTOが山梨から岩手の堅川目に移転して来たときから北上市にお世話になっています。工場最初のお客様は及川副市長さんで、こんな小さな工場でもきちんと歓迎してくださいました。な出会いから始まりました。

UTOのカシミヤをふるさと納税に提供していることもあり北上市とは常々意見交換をさせて頂いていて、堅川目の元工場長の遠藤さんの自宅前の15坪で3名で始まり、ここが手狭になり商工部の島津さんに江釣子の物件を紹介されました。80坪の物件と駐車場に「こんな広い処で?」と贅沢過ぎる広さに躊躇しました。

現在1~2~3名になりました。ふるさと納税も毎年2億円前後の寄付を頂けるようになります。また、現在お借りしている工場の契約が今年の5月で終了になるタイミングでもありました。



そんな折、北上市から黒岩小学校の廃校にあたつて使用の打診をいただきました。

素敵な校舎とスペースで願つてもないお話を、「広すぎる!」ことでした。使用するとなればほかの会社さんと共同では難しい、とはいえてU TOだけ使うには、と迷いました。

学校が無くなることは本当に寂しい。何とか残したい。素敵な建物なのでなんとか出来るのであれば無理をしてでも使わせてもらいたい。ここへ通っていた子供たちや地域の皆さんにカシミヤセーターの出来を見てもらいたいと思います。

私の勝手な計画、希望理想の未来工場への思いは、明るく、生産効率が良くて職人が生き生きと仕事が出来るスペースに余裕がある工場。という身の程知らずの贅沢なものでした。生産の現場もブランドの一貫だから高級カシミヤに相応しい東北一綺麗

工場が発展するかどうかはブランド・販売力次第です。ふるさと納税で毎年約2億円の寄付を頂けているのは答える一つだと思います。王室や多くの世界トップの指導者を顧客に使って頂くには、と迷いました。

学校が無くなることは本当に寂しい。何とか残したい。素敵な建物なのでなんとか出来るのであれば無理をしてでも使わせてもらいたい。ここへ通っていた子供たちや地域の皆さんにカシミヤセーターの出来を見てもらいたいと思います。

高い東京での出荷やウェブサイトの業務も岩手の方に移転する方法もあります。

旧黒岩小学校が、「岩手から世界へ」の足がかりになってくれると信じています。うど

5月11日(土)引越した新工場の旧黒岩諸学校の多目的ホールで、北上市による立地調印式を盛大に開催して頂きました。

当初は移転に伴うお知らせの一環として記者発表の場を持たと希望を北上市にお伝えしたら、「立地調印式を開催しメディアの方々に発表しましょう」と提案して頂き、計画がスタートしました。

江釣子から編み機などの設備の移動が終わり、黒岩地区の自治振興会にご挨拶に伺った時に「鬼剣舞を披露しよう」というお話を頂きました。

鬼剣舞は1300年前からここ北上地域で舞われて来ます。五穀豊穣や万民繁榮を願う念仏踊りが始まりで、仏の化身が鬼のような面をつけて勇壮に踊って邪気を払う踊りです。戦の出陣や凱旋の際にも舞われていたそうです。

北上市の男子は殆どが踊れるという程この地方では根付いている伝統芸能です。

そんな鬼剣舞を披露して頂けることは嬉しいことは嬉しいのですが、東京の北上ふるさと会で毎年拝見しているので、舞う人はもちろん笛や太鼓など、準備に時間が掛かる、人手もかかることを知っていたので、狭いホールで舞って頂くには申し訳なさすぎると思っていました。「お一人でもお二人でも結構です」とお応えしましたが、結局8名の踊り手の鬼と4名の音楽で披露して頂きました。

5月2週目の土曜日、この時期は多くの地域で行事が開催される中、この黒岩小学校の卒業生の皆さんが集まつてください精一杯舞ってくださいました。

土曜の休日にもかかわらず式には、八重樫市長、及川副市長、菊池市議会議長、昆黒岩自治会長他大勢の方々に出席頂き私たちが思っていた以上のスケールで、準備から仕舞い、司会の奥山課長をはじめ北上市の職員の皆様がやってくださいました。感謝感謝です。

お陰様で、メディアの方もIBC岩手放送、岩手朝日テレビ、新聞社は地元の岩手日報、岩手日日を始め読売新聞、河北新報社、北上ケーブルテレビに取材を頂きました。

北上川の東の高台があるので、窓からは田植えの終わった田んぼと緑の木々が望めます。何より地域の皆さんが歓迎してくださっていることを本当に嬉しく思います。早速6月に地元の子供会の工場見学会から始めます。

立地調印式と鬼剣舞



グレイシャーパーク ロツヂ

想いでホテルを旅する(七十八)

元 旅行屋のお勧め

ブリティッシュコロンビア・カナダ

旅行屋時代はヨーロッパやアジアの旅が多くアメリカへ行く機会が無かつたのでカナディアンロッキーは長年の夢でした。1990年、念願が叶ったアメリカ一周の旅の最後が力ナダでした。ソルトレイクシティの空港で車を借りて、イエローストーンを訪れ、その後国境を越えてカナダに入りカルガリー経由でバンフに入りました。レイクでの釣りで50センチオーバーのマスも吊り上げるというビギナーズラックの大満足の時間でした。

針葉樹のカナダ松とカナディアンロッキー独特的の鋭い岩山の中を走る車窓からのアイスフィールドパークウェイは圧倒される光景で、移動というより車窓が観光そのものですから詳しい予算や計画は後付けです。夢なり希望は沢山あります。もちろん事業ですから、売り上げや利益は確実なことは分かりません。成功するまでやり続けるしかありません。「岩手の北シミヤの聖地にしたい」は変わらんから。

岩山の中を走る車窓からのアイスフィールドパークウェイは圧倒される光景で、移動というより車窓が観光そのものです。スイスからイタリアへ抜ける道は、ゴツゴツした黒い岩が迫りくねくねと曲がり通る人を圧倒する迫力の道ですが、そんな中でも岩山の間に緑の牧草や牛など人間の営みが感じられましたが、カナディアンロッキーは全く人を寄せ付けない厳しい美しさで人間はただ眺めるだけの存在です。



カナディアンロッキーの締めくりはアサバスカ氷河体験でした。体験というよりも人間を寄せ付けない氷河に降り立ち氷河に触れるだけです。

雪上車でいざ氷河の上に。何処までも続く白い氷原は曇った空に溶け込んで不気味で怖いくらいです。氷河に降り立つて、足元の氷の上をかなりのスピードで流れている透明な川にびっくりでした。

「パンクーバーまで頑張っても良いけど、市内のホテルは高いので田舎の方が安く泊まれるはず」と、予想立て途中で泊まるところを決めようと言いながらアルバータ州からブリティッシュコロンビア州に入つてロジャーフォンツマンに取り扱つて頂けるのも世界への第一歩です。

移転費用は予定より随分かかりましたし、移転した当初校舎の中はスカスカですが、売り上げが伸びるごとに埋まっていくでしょう。家賃の高い東京での出荷やウェブサイトの業務も岩手の方に移転する方法もあります。

旧黒岩小学校が、「岩手から世界へ」の足がかりになってくれると信じています。うど

5月11日(土)引越した新工場の旧黒岩諸学校の多目的ホールで、北上市による立地調印式を盛大に開催して頂きました。

当初は移転に伴うお知らせの一環として記者発表の場を持たと希望を北上市にお伝えしたら、「立

地調印式を開催しメディアの方々に発表しましょう」と提案して頂き、計画がスタートしました。

江釣子から編み機などの設備の移動が終わり、黒岩地区の自治振興会にご挨拶に伺った時に「鬼剣舞を披露しよう」というお話を頂きました。

鬼剣舞は1300年前からここ北上地域で舞われて来ます。五穀豊穣や万民繁榮を願う念仏踊りが始まりで、仏の化身が鬼のような面をつけて勇壮に踊って邪気を払う踊りです。戦の出陣や凱旋の際にも舞われていたそうです。

北上市の男子は殆どが踊れるという程この地方では根付いている伝統芸能です。

そんな鬼剣舞を披露して頂けることは嬉しいことは嬉しいのですが、東京の北上ふるさと会で毎年拝見しているので、舞う人はもちろん笛や太鼓など、準備に時間が掛かる、人手もかかることを知っていたので、狭いホールで舞つて頂くには申し訳なさすぎると思っていました。「お一人でもお二人でも結構です」とお応えしましたが、結局8名の踊り手の鬼と4名の音楽で披露して頂きました。

5月2週目の土曜日、この時期は多くの地域で行事が開催される中、この黒岩小学校の卒業生の皆さんが集まつてください精一杯舞ってくださいました。

土曜の休日にもかかわらず式には、八重樫市長、及川副市長、菊池市議会議長、昆黒岩自治会長他大勢の方々に出席頂き私たちが思っていた以上のスケールで、準備から仕舞い、司会の奥山課長をはじめ北上市の職員の皆様がやってくださいました。感謝感謝です。

お陰様で、メディアの方もIBC岩手放送、岩手朝日テレビ、新聞社は地元の岩手日報、岩手日日を始め

読売新聞、河北新報社、北上ケーブルテレビに取材を頂きました。

北上川の東の高台があるので、窓からは田植えの終

わった田んぼと緑の木々が望めます。何より地域の皆さんが歓迎してくださっていることを本当に嬉しく思います。早速6月に地元の子供会の工場見学会から始めます。

立地調印式と鬼剣舞

5月11日(土)引越した新工場の旧黒岩諸学校の多目的ホールで、北上市による立地調印式を盛大に開催して頂きました。

当初は移転に伴うお知らせの一環として記者発表の場を持たと希望を北上市にお伝えしたら、「立

地調印式を開催しメディアの方々に発表しましょう」と提案して頂き、計画がスタートしました。

江釣子から編み機などの設備の移動が終わり、黒岩地区の自治振興会にご挨拶に伺った時に「鬼剣舞を披露しよう」というお話を頂きました。

鬼剣舞は1300年前からここ北上地域で舞われて来ます。五穀豊穣や万民繁榮を願う念仏踊りが始まりで、仏の化身が鬼のような面をつけて勇壮に踊って邪気を払う踊りです。戦の出陣や凱旋の際にも舞われていたそうです。

北上市の男子は殆どが踊れるという程この地方では根付いている伝統芸能です。

そんな鬼剣舞を披露して頂けることは嬉しいことは嬉しいのですが、東京の北上ふるさと会で毎年拝見しているので、舞う人はもちろん笛や太鼓など、準備に時間が掛かる、人手もかかることを知っていたので、狭いホールで舞つて頂くには申し訳なさすぎると思いました。「お一人でもお二人でも結構です」とお応えしましたが、結局8名の踊り手の鬼と4名の音楽で披露して頂きました。

5月2週目の土曜日、この時期は多くの地域で行事が開催される中、この黒岩小学校の卒業生の皆さんが集まつてください精一杯舞ってくださいました。

土曜の休日にもかかわらず式には、八重樫市長、及川副市長、菊池市議会議長、昆黒岩自治会長他大勢の方々に出席頂き私たちが思っていた以上のスケールで、準備から仕舞い、司会の奥山課長をはじめ北上市の職員の皆様がやってくださいました。感謝感謝です。

お陰様で、メディアの方もIBC岩手放送、岩手朝日テレビ、新聞社は地元の岩手日報、岩手日日を始め

読売新聞、河北新報社、北上ケーブルテレビに取材を頂きました。

北上川の東の高台があるので、窓からは田植えの終

わった田んぼと緑の木々が望めます。何より地域の皆さんが歓迎してくださっていることを本当に嬉しく思います。早速6月に地元の子供会の工場見学会から始めます。

立地調印式と鬼剣舞

5月11日(土)引越した新工場の旧黒岩諸学校の多目的ホールで、北上市による立地調印式を盛大に開催して頂きました。

当初は移転に伴うお知らせの一環として記者発表の場を持たと希望を北上市にお伝えしたら、「立

地調印式を開催しメディアの方々に発表しましょう」と提案して頂き、計画がスタートしました。

江釣子から編み機などの設備の移動が終わり、黒岩地区の自治振興会にご挨拶に伺った時に「鬼剣舞を披露しよう」というお話を頂きました。

鬼剣舞は1300年前からここ北上地域で舞われて来ます。五穀豊積や万民繁榮を願う念仏踊りが始まりで、仏の化身が鬼のような面をつけて勇壮に踊って邪気を払う踊りです。戦の出陣や凱旋の際にも舞われていたそうです。

北上市の男子は殆どが踊れるという程この地方では根付いている伝統芸能です。

そんな鬼剣舞を披露して頂けることは嬉しいことは嬉しいのですが、東京の北上ふるさと会で毎年拝見しているので、舞う人はもちろん笛や太鼓など、準備に時間が掛かる、人手もかかることを知っていたので、狭いホールで舞つて頂くには申し訳なさすぎると思いました。「お一人でもお二人でも結構です」とお応えしましたが、結局8名の踊り手の鬼と4名の音楽で披露して頂きました。

5月2週目の土曜日、この時期は多くの地域で行事が開催される中、この黒岩小学校の卒業生の皆さんが集まつてください精一杯舞ってくださいました。

土曜の休日にもかかわらず式には、八重樫市長、及川副市長、菊池市議会議長、昆黒岩自治会長他大勢の方々に出席頂き私たちが思っていた以上のスケールで、準備から仕舞い、司会の奥山課長をはじめ北上市の職員の皆様がやってくださいました。感謝感謝です。

お陰様で、メディアの方もIBC岩手放送、岩手朝日テレビ、新聞社は地元の岩手日報、岩手日日を始め

読売新聞、河北新報社、北上ケーブルテレビに取材を頂きました。

北上川の東の高台があるので、窓からは田植えの終

わった田んぼと緑の木々が望めます。何より地域の皆さんが歓迎してくださっていることを本当に嬉しく思います。早速6月に地元の子供会の工場見学会から始めます。

立地調印式と鬼剣舞

5月11日(土)引越した新工場の旧黒岩諸学校の多目的ホールで、北上市による立地調印式を盛大に開催して頂きました。

当初は移転に伴うお知らせの一環として記者発表の場を持たと希望を北上市にお伝えしたら、「立

地調印式を開催しメディアの方々に発表しましょう」と提案して頂き、計画がスタートしました。

江釣子から編み機などの設備の移動が終わり、黒岩地区の自治振興会にご挨拶に伺った時に「鬼剣舞を披露しよう」というお話を頂きました。

鬼剣舞は1300年前からここ北上地域で舞われて来ます。五穀豊積や万民繁榮を願う念仏踊りが始まりで、仏の化身が鬼のような面をつけて勇壮に踊って邪気を払う踊りです。戦の出陣や凱旋の際にも舞われていたそうです。

北上市の男子は殆どが踊れるという程この地方では根付いている伝統芸能です。

そんな鬼剣舞を披露して頂けることは嬉しいことは嬉しいのですが、東京の北上ふるさと会で毎年拝見しているので、舞う人はもちろん笛や太鼓など、準備に時間が掛かる、人手もかかることを知っていたので、狭いホールで舞つて頂くには申し訳なさすぎると思いました。「お一人でもお二人でも結構です」とお応えしましたが、結局8名の踊り手の鬼と4名の音楽で披露して頂きました。

5月2週目の土曜日、この時期は多くの地域で行事が開催される中、この黒岩小学校の卒業生の皆さんが集まつてください精一杯舞ってくださいました。

土曜の休日にもかかわらず式には、八重樫市長、及川副市長、菊池市議会議長、昆黒岩自治会長他大勢の方々に出席頂き私たちが思っていた以上のスケールで、準備から仕舞い、司会の奥山課長をはじめ北上市の職員の皆様がやってくださいました。感謝感謝です。

お陰様で、メディアの方もIBC岩手放送、岩手朝日テレビ、新聞社は地元の岩手日報、岩手日日を始め

読売新聞、河北新報社、北上ケーブルテレビに取材を頂きました。

北上川の東の高台があるので、窓からは田植えの終

わった田んぼと緑の木々が望めます。何より地域の皆さんが歓迎してくださっていることを本当に嬉しく思います。早速6月に地元の子供会の工場見学会から始めます。

立地調印式と鬼剣舞

5月11日(土)引越した新工場の旧黒岩諸学校の多目的ホールで、北上市による立地調印式を盛大に開催して頂きました。

当初は移転に伴うお知らせの一環として記者発表の場を持たと希望を北上市にお伝えしたら、「立

地調印式を開催しメディアの方々に発表しましょう」と提案して頂き、計画がスタートしました。

江釣子から編み機などの設備の移動が終わり、黒岩地区の自治振興会にご挨拶に伺った時に「鬼剣舞を披露しよう」というお話を頂きました。

鬼剣舞は1300年前からここ北上地域で舞われて来ます。五穀豊積や万民繁榮を願う念仏踊りが始まりで、仏の化身が鬼のような面をつけて勇壮に踊って邪気を払う踊りです。戦の出陣や凱旋の際にも舞われていたそうです。

北上市の男子は殆どが踊れるという程この地方では根付いている伝統芸能です。

そんな鬼剣舞を披露して頂けることは嬉しいことは嬉しいのですが、東京の北上ふるさと会で毎年拝見しているので、舞う人はもちろん笛や太鼓など、準備に時間が掛かる、人手もかかることを知っていたので、狭いホールで舞つて頂くには申し訳なさすぎると思いました。「お一人でもお二人でも結構です」とお応えしましたが、結局8名の踊り手の鬼と4名の音楽で披露して頂きました。

5月2週目の土曜日、この時期は多くの地域で行事が開催される中、この黒岩小学校の卒業生の皆さんが集まつてください精一杯舞ってくださいました。

土曜の休日にもかかわらず式には、八重樫市長、及川副市長、菊池市議会議長、昆黒岩自治会長他大勢の方々に出席頂き私たちが思っていた以上のスケールで、準備から仕舞い、司会の奥山課長をはじめ北上市の職員の皆様がやってくださいました。感謝感謝です。

お陰様で、メディアの方もIBC岩手放送、岩手朝日テレビ、新聞社は地元の岩手日報、岩手日日を始め

読売新聞、河北新報社、北上ケーブルテレビに取材を頂きました。

</div